

令和7年度の新潟県中体連陸上競技事業におきまして下記の通り進めていく予定です。今後、内容の変更がある場合は、その都度お伝えしていきます。なお、地域クラブにつきましては、新潟県中体連が承認した団体のみ対象となります。

令和7年度 共通確認事項

I 陸連登録について

令和7年度も引き続き2重登録可能（学校と地域クラブ）。今後については全国の動向を見ていきながら、県内の地域移行の状況を踏まえ判断していく。

なお、拠点校部活動（拠点校に依頼し承認された学校）と地域クラブの2重登録は原則、不可とする。

II 同一所属出場について

1 全日本中学校陸上競技選手権大会【※以後、全日中】につながる指定競技会

新潟県中学校陸上競技大会【※以後、県総体】（各地区・新潟市陸上競技大会が予選）・全日本中学校通信陸上競技大会新潟県大会【※以後、通信陸上】・県四種記録会は同一所属から参加する。途中で変更してはならない。つまり、開催期日のもっとも早い各地区・新潟市陸上競技大会の所属が夏季全日中まで続く。（例：各地区・新潟市陸上競技大会は「学校」で順位通過→県総体は「地域クラブ」で申込み×、その逆も×）

なお、新潟県中学校駅伝競走大会【※以後、県駅伝】（各地区・新潟市駅伝競走大会含む）の所属については、昨年度同様に「全日中に繋がる中体連主催陸上競技大会と駅伝競走大会の出場について所属は同一でなくてよい」としたい。新潟県としては、年度途中で学校部活動が廃止され、練習母体が変わる生徒が出てくるという現状を踏まえての判断である。但し、競技部細則の「選抜等」にならないように条件を追加した（下記VII競技部細則）。

2 全日中につながらない競技会

2重登録生徒の所属は同一でなくてよい。（上記II-1をのぞく競技会 陸協主催選手権・記録会・U-16など）中体連主催新人大会は各郡市中体連の方針に従う。

III 通信陸上について

1 出場資格

- 例年通り、記録会等の競技会において参加標準記録を突破した個人（チーム）が出場できる。
- 個人種目 2重登録生徒は「学校」「地域クラブ」のどちらで出した突破記録であっても、その個人のもち記録として処理し、大会申込みを受け付ける。（例：記録会で「学校」出場で記録突破→通信陸上は「地域クラブ」で出場○ その逆も○）
- リレー個人種目とは異なり、次の①～③のとおり申し込みを受け付ける。
 - 通信陸上に「学校」で出場するために→競技会で「学校」で出場し記録突破する。
 - 通信陸上に「地域クラブ」で出場するために→競技会で「地域クラブ」で出場し記録突破する。
 - 2重登録生徒は「学校」「地域クラブ」の両方を兼ねることができる。（例：A記録会で「地域クラブ」で出場し記録突破、更にB記録会で「地域クラブ」所属の何人かが「学校」で出場し記録突破した場合、「地域クラブ」「学校」ともに出場資格を得ることができる。
 - 地域クラブ活動団体のリレーチームの編成については下記（VII 競技部細則について）のとおり。

2 通信陸上・北信越総合競技大会（※以後、北信越大会）の実施種目と北信越大会出場資格について

令和7年度通信陸上は令和6年度に引き続き1年男子1500mをオープン種目として実施する。令和7年度北信越大会福井県開催は令和6年度と同種目での開催となり、通信陸上の上位者3名が参加資格を得ることができる。（出場人数等の制限あり）令和8年度以降の通信陸上の実施種目については、令和9年度全日中実施種目の正式決定を受けて変更する予定である。

IV 県総体について

1 出場資格

各地区・新潟市陸上競技大会において上位者が県総体への参加資格を得る。（出場人数等の制限あり）

2 今後の開催について

令和7年度については若干の変更もあるが概ね、例年通りの競技会となる。令和8年度以降については、令和9年度全日中の実施種目や参加資格の正式決定を受けて、通信陸上同様に変更し準備を進める。

V 県駅伝について

1 出場資格

- (1) 各地区・新潟市駅伝競走大会において上位チームが県駅伝への参加資格を得る。
- (2) 地域クラブの駅伝競走チーム編成については下記（VII 競技部細則について）のとおり。

2 今後の開催地

令和7年度下越地区と令和8年度上越地区開催は決定、令和9年度は中越地区開催の予定である。令和10年度以降については全国中学校駅伝競走大会の動向を見ながら、開催地の拠点化を進めていく予定である。

VI U-16陸上競技大会について

令和6年度に引き続き、新潟県代表枠種目についてはランキング選考とする。4月～8月に公認競技会を出した最高記録（ポイントランキング）1位を県代表とする。詳細は後日、選考についての実施要項を提示する。

VII 令和7年度競技部細則について

リレー（駅伝）は、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、または、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」で参加することができる。ただし、複数の中学校から選手を選抜等によって編成されたチームは除く。または、登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。※抜粋

下線部「選抜等」については令和7年度新たに追加された文言である。全国中体連陸上競技専門部としては次のように解釈している。『勝利至上主義のために複数校の生徒により構成されたリレー・駅伝のチームは認められない。但し、複数校で構成された全ての地域クラブ活動を示すものではない。例えば、学校に部活動のない複数校の生徒で構成された「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、または、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」は複数校生徒で編成されたチームによるリレーや駅伝への参加は可能である。』（補足説明省略）

これらを踏まえ、地域クラブが単独チーム編成でリレーおよび駅伝競走に出場できる条件は下記の通りとする。

- ① 学校部活動の設置がない。→地域クラブ所属の該当中学生 **出場○**
 - ② 学校部活動の設置がある。学校が単独でチーム編成できる場合→地域クラブ所属の当該中学生は **出場×**
 - ③ 学校部活動の設置がある。地域クラブの登録リレー4人（駅伝男子6人・駅伝女子5人）以上が同一学校に在籍している→地域クラブ所属の該当中学生 **出場○**
 - ④ 学校部活動の設置がある。学校でリレー4人（駅伝男子6人・駅伝女子5人）未満のためチーム編成できない場合→地域クラブ所属の該当中学生 **出場○**
 - ⑤ 上記③の登録リレー4人（駅伝男子6人・女子5人）と上記①④の混合チーム→ **出場○**（例：同一学校4人＋部活動の設置がない中学生1人＋学校でチーム編成できない中学生1人の混合チーム出場○）
 - ⑥ 上記③の登録リレー4人（駅伝男子6人・女子5人）が複数ある場合の混合チーム→ **出場×**（例：同一学校リレー4人が2校以上ある混合チームの出場×）
- ※ 学校特設陸上は部活動設置があると判断する。
※ 登録リレーの捉えとして、大会申込み（プログラム記載）の6人内に入れる。

更に駅伝競走では、選抜等によって編成されたチームにならないように下記のとおり条件を追加する。

- ① 当該地域クラブに所属している中学生である。（例：5月頃までには所属している）
- ② 当該地域クラブの活動に継続的に取り組んでいる中学生である。（例：大会前だけなど短期間練習×）

「学校」と「地域クラブ」に2重登録している中学生がいる場合は、生徒本人の希望のみならず、活動実態を踏まえ、学校顧問と地域クラブ指導者間でよく相談し、確認した上で申込みを進めていくこと。

令和7年4月1日現在

不明な点がありましたら各地区・新潟市部長に問い合わせ願います。